

事務事業名	環境美化員活動事業		所属部局	市民部	単位番号	4105					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	環境課	課長名	澤口政彦					
			所属担当	ごみ減量化推進担当	担当者名	深澤 肇					
基本政策	基本計画	IV	快速で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	体系	20	快適生活環境の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策		33	生活環境の保全								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)				法令根拠	環境美化員設置要綱					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 H25年度事業名: 環境美化員活動事業 ごみの適正な処理及びその減量化を進め、良好な環境を保持するために設置されている。また、市民と市が協力してきれいで快適なまちをつくるため、ごみ集積場所の管理及び収集日の遵守等の指導、ごみ収集への協力、分別収集の徹底への啓発、ごみの減量化に関する啓発、地域の環境美化活動の実施、清掃活動への協力、廃棄物の不法投棄の監視及び指導、環境美化及び環境保全に関し、市と連絡調整を図るなどの役割。調整後は市内で183名以内とする			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	項目(細節)				金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)		
	報償金 2,136 消耗品費 566						計		2,702		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 地域の廃棄物の適正処理の推進と集積所管理の指導を行ってもらう。 ※183名を定数とし、平成26年度に完全移行する。 27年度活動予定 地域の廃棄物の適正処理の推進と集積所管理の指導を行ってもらう。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 環境美化員の数 人 イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 環境美化員	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 市民数 人 イ 美化員の数 人 ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	環境美化員による指導、啓発等により、分別収集の徹底と良質な環境を作る。環境の保全を推進する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 美化員の出労(粗大ごみ) 回 イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	地域の環境保全の推進。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 環境美化員の出労回数 回 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	2,160	2,452	2,702	556	556			
	人件費	事業費計(A)	千円	2,160	2,452	2,702	556	556	0	0	
		正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6			
		延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50			
		人件費計(B)	千円	228	228	228	228	228	0	0	
		(A)+(B)	千円	2,388	2,680	2,930	784	784	0	0	
活動指標	人	467.0	183.0	183.0	183.0	183.0					
対象指標	人	72,012.0	72,593.0	72,963.0	72,963.0	72,963.0					
	人	467.0	400.0	183.0	183.0	183.0					
成果指標	回	31.0	14.0	14.0	14.0	14.0					
	回	210.0	140.0	140.0	140.0	140.0					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併以前の旧町村時代より取組んできた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	積極的に取組んでいる地域とお役目でやっている地域が明確になっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	任命の方法、職務の内容、係わる時間等地域によって格差がある。今後は検討の中で集約を図る。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	昨年までは、業務等の格差については是正してこなかった。ただし、本年度は、検討会を立上げ少しでも業務の統一を図りたい。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	生活環境保全検討委員会へ各地区の美化員の業務内容の統一、報償金の統一について意見を求めた。

事務事業名	環境美化員活動事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域の環境美化活動の指導的な立場となっている(リサイクル・ゴミの搬出方法等)が、一部地区では、集積所の管理者と勘違いしている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 環境美化員会の運営については、各地区で対応し、地区の役員となっている。市全体の総会を立上げ、市の役職として環境課が事務局を持つ方法がある。ただし、設置要綱の一部改正が必要。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 設置要綱の一部改正を行い、要綱の中に報酬や業務内容を明記する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 環境美化員の任命方法が地区により異なるため、環境美化員の人数に差がある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) リサイクル推進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 リサイクル推進に関する事業として集約可能 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 指導・監視的立場の人がいなくなり、ごみ集積所の運営に支障をきたす。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 指導・監視的立場の人がいなくなり、ごみ集積所の運営に支障をきたす。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ボランティア活動的な事業となっており、報償金については、粗大ごみ収集時の出労への報奨となっている。ただし、地区の中には、ごみの諸問題の全権をまかされているところもあり、業務についても集約できるよう検討する。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 報償金以外については、事務的経費となっている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 選任の方法等を検討会へ提案し、地区ごとの実情を理解してもらう。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	環境美化員の選任方法、業務の内容に格差がある。検討委員会の中で検討課題としてとり上げ、集約を図ってきたい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 類似事業への統一が可能。(リサイクル推進事業として取り組む) ・リサイクル推進事業・ごみカレンダー作成事業 ② 美化員数の人数、報償、業務等の根拠が要綱に無い、要綱に明記する。 ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① 予算科目の集約 ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	③	コスト削減優先度評価結果	⑪																	
成果優先度評価結果	③																					
コスト削減優先度評価結果	⑪																					